

## 第 79 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 6 年 6 月 28 日 09:00～09:30

場 所：県庁 10 階 防災センター

出席委員：鞍谷委員長、片岡委員、西本委員、望月委員  
(Web) 泉委員、大堀委員、近藤委員、山本(雅)委員

議 題：

- (1) 原子力発電所周辺の環境放射能調査について  
・令和 5 年度 第 4 四半期（1 月～3 月）報告
- (2) 発電所の運転・建設および廃止措置状況について  
・令和 6 年 2 月～5 月分報告

概 要：

- 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転・建設および廃止措置状況について、事務局より説明
- 資料については、次回の原子力環境安全管理協議会の場で配布予定

(原子力発電所周辺の環境放射能調査) 令和 5 年度 第 4 四半期

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・ 浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・ 一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、いずれも環境安全評価上問題となるレベルではなかった。
- ・ 一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全評価上問題となるレベルではなかった。

(発電所の運転および廃止措置状況) 令和 6 年 2 月～6 月

- ・ 計画外の原子炉停止や出力抑制なし。現在、県内発電所 2 基が定期検査中。
- ・ 当該期間において、安全協定に基づき報告された異常事象は 1 件あった。  
(大飯 3 号機 原子炉格納容器内での協力会社作業員の負傷)

<主な質疑>

Q. 環境放射能の測定はどの程度の時間を要するのか。緊急時はどうするのか。

A. ヨウ素など半減期の短いものを確認する際は採取から 8 日以内に測定する。緊急時のマニュアルも存在しており、試料を前処理なしに測定するなど、迅速性を優先した分析法を採用する。

以 上